

2021年12月20日  
GMOペパボ株式会社

### 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、2020年度の実効性評価の対象として、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要をお知らせします。

#### 【取締役会評価実施要領】

対象者	2020年度の実効性評価対象者（10名。うち監査等委員である取締役は3名）
実施／評価方法	1. 対象者に対するアンケートを実施 2. 取締役会において分析・評価を実施
質問項目	1. 取締役会の構成 2. 取締役会の運営 3. 株主との関係・対話 4. 株主以外のステークホルダーへの対応 5. 社外取締役に対する情報提供

#### 【評価結果の概要】

実効性評価におけるアンケートの結果から、当社取締役会の実効性は引き続き確保されていることを確認いたしました。

##### 1. 前回評価において認識した課題の対応

前回評価において認識した課題については、以下の通り対応しており、継続した改善を図っております。

###### (1) さらなる多様性の向上

第19期定時株主総会において社外取締役が1名就任したことにより、より一層バックグラウンドの多様性が確保されました。

###### (2) 企業文化・風土の実践レビュー

リモートワーク体制の導入後において、当社の企業文化・風土についてパートナーに対するアンケートを新たに実施し、当社の企業文化・風土の実践について確認いたしました。

###### (3) 社外取締役への情報提供

社外取締役と常勤取締役との定期的な情報共有の機会を設けるとともに、取締役会資料の体裁や内容を見直すことで、常勤取締役と社外取締役との一層のコミュニケー

ションの強化や情報格差の解消を図っております。

## 2. 今後の重点的に取り組むべき課題

今回の評価結果の分析により、今後も引き続き①取締役会の全体としての知識・経験・能力のバランスを考慮しつつ、多様性を向上させること、②企業文化・風土の取締役会による実践レビュー、③社外取締役への情報提供の拡充を今後の課題ととらえております。

取締役会の多様性については、各取締役の知識・経験・能力等を一覧化したいわゆるスキル・マトリックスを定め、引き続き検討をいたします。

また、ステークホルダーの権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成のため、全社アンケートの実施を引き続き実施し、取締役会によるレビューを行ってまいります。

社外取締役会への情報提供については、議案の早期の共有や社外取締役との定期的な情報共有の機会を増やすなど、社外取締役とのコミュニケーションをより強化してまいります。

以上